

令和 5 年 8 月 2 日

社会課題解決型イノベーション人材育成の取り組みを開始

福島大学地域未来デザインセンターでは、令和 5 年度より、社会課題解決型イノベーション人材育成の取り組みを進めておりました。

大学生・研究者を対象とした社会課題解決型の半年間のイノベーションプログラムとして、この度、いわき市常磐湯本温泉をフィールドとした「みちのくイノベーションキャンプ 2023 in いわき」を開催いたします。

みちのくイノベーションキャンプ 2023 in いわき

「みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム (MASP) ※」に参画する国公立 10 大学の学生・研究者を対象に、福島県いわき市常磐湯本温泉をフィールドとした半年間 (2023 年 8 月～2024 年 2 月) の社会課題解決型イノベーションプログラムを実施します。本プログラムは、福島大学、東北大学、いわき市との共同開催で実施し、8 月 18 日～20 日の 3 日間にて、フィールドワーク合宿を行います。

主催：福島大学、東北大学

共催：いわき市 (観光振興課)

協力：みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム

<常磐湯本温泉でのフィールドワーク合宿>

- ・期間：2023 年 8 月 18 日 (金) ～8 月 20 日 (日)
- ・内容：いわき市湯本駅近郊にて、まちづくり、温泉資源の利活用、スポーツ振興等のテーマにて、3 日間のフィールドワーク合宿を実施します。合宿終了後、それぞれのテーマに基づくチーム体制にて、地域と連携した価値創造、産業創出を目指した活動を進めていきます。2024 年 2 月には、成果報告会を予定しています。
- ・プログラム参加者：MASP に参加する国公立 10 大学 (東北大学、弘前大学、秋田大学、岩手大学、山形大学、新潟大学、長岡技術大学、宮城大学、会津大学、福島大学) に在籍する学生・研究者

および、いわき市内の高校生・高専生 (特別枠での参加を予定)

※みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム：

JST 研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム (START) 大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援の採択を受け、東北大学

を主幹機関、弘前大学、岩手大学、秋田大学、山形大学、福島大学、新潟大学、長岡技術科学大学、宮城大学、会津大学、東北大学ナレッジキャストを共同機関として実施しているプラットフォーム。(<https://michinoku-academia-startup.jp/>)

(お問い合わせ先)
地域未来デザインセンター
副センター長 岩井秀樹
事業開発担当 江尻綾美
研究・地域連携課 担当 阿部晃大
電話 : 024-548-8012
メール : chi-kikaku@adb.fukushima-u.ac.jp

【補足資料】みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム (MASP) について

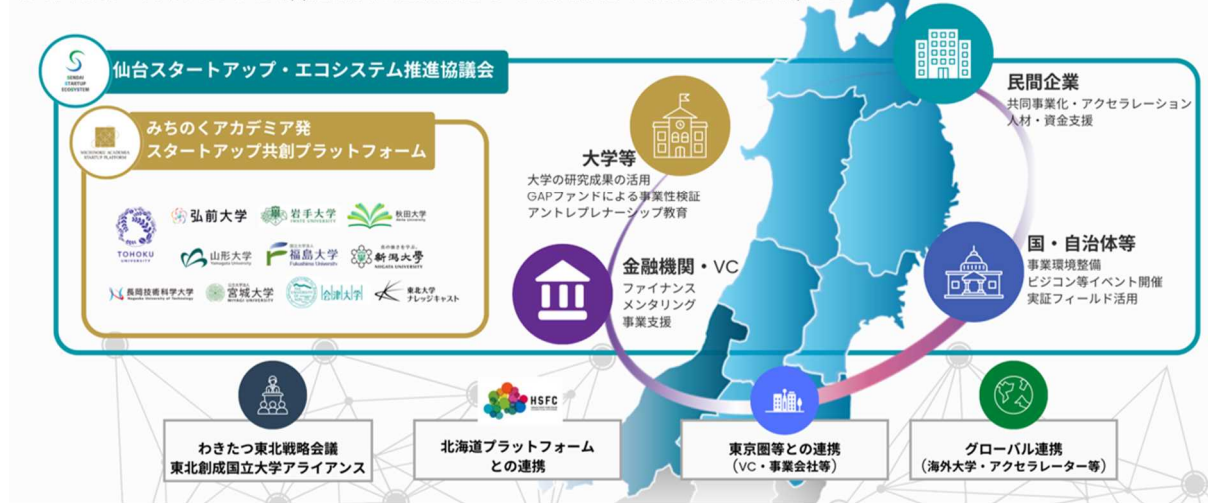
みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム (MASP)

JST 研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム (START) 大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援の採択を受け、東北大学を主幹機関、弘前大学、岩手大学、秋田大学、山形大学、福島大学、新潟大学、長岡技術科学大学、宮城大学、会津大学、東北大学ナレッジキャストを共同機関として実施しているプラットフォームを指します。 (<https://michinoku-academia-startup.jp/>)

MASP の全体像

東北・新潟を課題先進地域から課題解決先進地域へ

東北・新潟の10大学が、大学の研究成果・技術シーズを活用した大学発スタートアップを創出し、地域の産学官金一体となってスタートアップ・エコシステムを形成・発展し、地域外とも連携して、課題先進地域から国内外の課題解決に資する大学発スタートアップの創出を加速していく。(大学発スタートアップによる地域課題解決：産業構造・少子化高齢化・人材流出・災害対策など)



MASP の推進体制



MASP の全体構成（5年後に向けた取り組み）

2022年度～2026年度（5年間）の取組計画

みちのく7県の大学が一体となって、スタートアップ創出やアントレプレナーシップ育成等の取組を推進
（プラットフォーム主幹校の東北大学の仕組みや経験等を共有・展開）



起業活動支援（みちのくGAPファンド）

大学の研究者・学生を対象に研究成果の事業性検証のためのGAPファンド支援プログラムを運営

- みちのくGAPファンド運営
- 支援プログラム（セミナー・メンタリング等）
- DEMODAY



アントレプレナーシップ^o人材育成

アントレプレナー教育で培ったノウハウと国際連携ネットワークの双方をフル活用し、世界に伍する指導者・支援人材を育成

- みちのく起業家教育
- 海外研修



起業環境の整備

みちのく大学間起業支援室ネットワーク（MuNES）を構築し、スタートアップ支援エコシステムを整備

- 一元的な起業相談窓口
- 起業関係学内規程の共有・整備
- プロトタイプ製作・プロトタイプデザイン教育研修



エコシステムの形成・発展

拠点都市コンソーシアムへの参画により、東北スタートアップエコシステム内での産学官金連携を強化

- プラットフォーム推進会議や東北地域ベンチャー支援エコシステム連絡協議会の運営
- コミュニティの形成

※本取り組みの一環として、MASP 参画大学の研究者、学生を対象としたみちのくイノベーションキャンプを開催いたします。

以上

MICHINOKU INNOVATION CAMP 2023 IN IWAKI

福島県いわき市常磐湯本温泉地域をフィールドに、
社会課題解決型のビジネスプラン・実証提案を目指す
半年間のイノベーションプログラム

STEP 1

Fieldwork

2023年8月18日～20日

合宿 in いわき

STEP2

Ideation &
Business Modeling

2023年9月～2024年1月

STEP 3

Final Presentation

2024年2月予定

2泊3日でのフィールドワーク
合宿にて、常磐湯本温泉地域や、
地域の有識者との接点を通じて
テーマ選定とチーム作りを行う

チーム単位での活動にて、
アイディエーション・仮説検証を
繰り返し、ビジネスプランを練る
(メンター伴走型支援有)

地域に関わるステークホルダー、
有識者に向けた、取り組み内容の
成果報告と、次年度以降の実証
提案を目指す

【参加対象者】

弘前大学、岩手大学、東北大学、
秋田大学、山形大学、福島大学、
新潟大学、長岡技術科学大学、
宮城大学、会津大学
に在籍する学生・研究者

主催：福島大学、東北大学 共催：いわき市（観光振興課）

協力：みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム

問合せ：第5回みちのくイノベーションキャンプ事務局（福島大学地域未来デザインセンター）

担当（江尻 E-mail: r415@ipc.fukushima-u.ac.jp）